

届け浄火 東日本被災地へ



有喜苑内に建立されている「東日本物故者供養塔」



至心に祈りを捧げる大山隆玄眞首大導師

去る三月十一日、東日本大震災発生から五年を迎え、高尾山では大本堂慈照観音前にて、大震災により亡くなられた物故者の御冥福をお祈りする追悼法要が、大山眞首御導師のもと執り行われました。

有喜苑内に建立されている「東日本物故者供養塔」前には、雪の降る中にも関わらず、参拝の方々が訪れ、熱心に祈りを捧げられておりました。

二日後の十三日には、高尾山麓の自動車祈祷殿大広場にて、春を呼ぶ「高尾山火渡り祭」が、大山隆玄眞首大導師、菅谷秀文執事長祇師のもと、盛大に執り行われました。

全国で修行を積んだ大勢の山伏が一堂に集い、柴燈大護摩供が厳修され、発生から五年を迎えた東日本大震災をはじめとした、日本各所の国土安穩・被災地早期復興を願い、祈りが捧げられました。

会場内を熱するが如く火焰が立ち上ると、御信徒皆様の願いを込められた「撫で木」が投入され、浄煙となり、天へと昇りました。

続く火渡り行の「火生三昧」では、修験山伏の火防の修法により鎮められた浄火を、素足で踏みしめ、身体健全・身上安全・災厄消除を念じられました。

会場に押し寄せた大勢の参拝者は、山伏に続いて浄火を渡り、諸願成就を祈願されると共に、被災地や被災者の方々の一日も早い復興を祈念されました。

東日本大震災より五年
大災害を忘れず、復興と安寧の祈り